

スポーツエールカンパニーシンポジウム 取組事例紹介

2020年3月6日
東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株) 人事企画部社員総活躍推進室

会社概要

商号	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社
本社	東京都中央区日本橋二丁目5番1号
設立年月日	1929年6月19日
事業内容	持株会社
資本金	360億円
従業員数	3000名(連結ベース)



従業員のスポーツ実施に取り組む背景

東海東京フィナンシャルグループ

「わくわくしながら

“学び続ける会社”“チャレンジする会社”を目指します」

- 会社間、部店間、世代間を超えたコミュニケーションの促進
➤ 社内一体感の醸成
- デスクワークによる運動不足の改善
- 働く親の運動機会の提供

**生き生きと働ける職場環境づくりと
社員のワークバランスの推進**

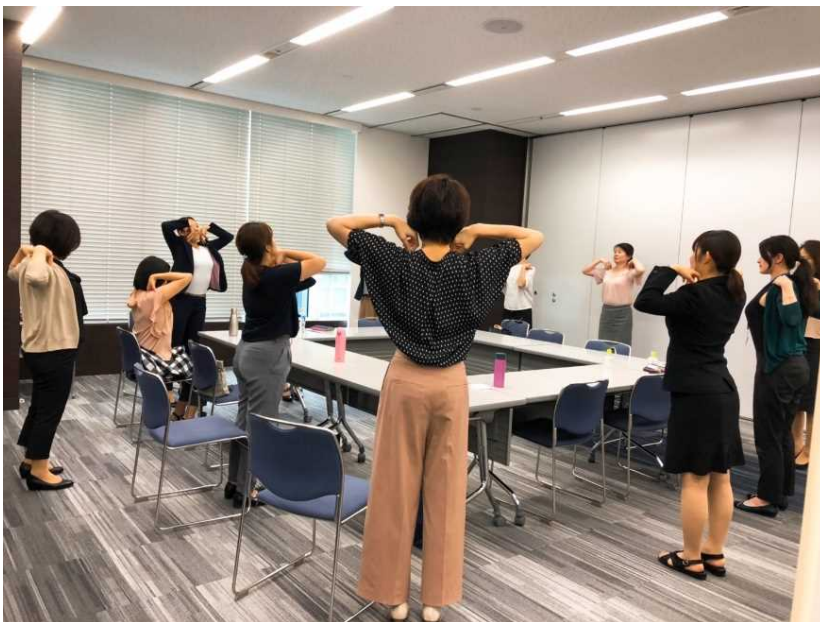
取組み内容① 社内クラブ活動への補助金制度



共通の趣味や運動を通して交流を深め、「わくわく」しながら健康づくりをしていくことを目的としている。

現在13の運動部(約380名の社員)に対し補助金を支給。

取組み内容② ウェルビーイングイベントの開催



社員の健康&運動に対する意識の向上と運動機会の増加、社内コミュニケーションの活性化を目的としている。

運動のテーマは、デスクや自宅で簡単に行えること、継続できるものとし、ストレッチおよび体幹トレーニングを実施。

取組み内容③ わくわくギネスでのチャレンジ制度

2018年6月29日
人事企画部

わくわく★NEWS LETTER ~第5回~

**第11回わくわくギネス
金賞受賞者の取組みを紹介します！**

- ・わくわくアクティビティコース(個人部門)
【目標】トライアスロン伊良湖にエントリーし完走すること。
(スイム1.5km、バイク42km、ラン10km)
【結果】500人中373位で完走。トータルタイムは3:32:50。
【達成までの工夫】練習メニューに工夫を凝らし、日々の練習に動んだ。
- ・わくわくアクティビティコース(チーム部門)
【目標】富士山登頂(3,776m)
【結果】登頂を果たし、忍耐力と精神力を鍛え直し、強い支店をつくることが出た。
【達成までの工夫】特になし。2日間かけて皆で登り、ご来光を拝むことで、最高の思い出を共有することが出来た。
- ・わくわくカルチャーコース
【目標】夜間4年制大学の卒業
【結果】業務との両立を果たし留年することなく卒業達成。
【達成までの工夫】学習を効率よくやることはもちろんのこと、勉強だけでなく、卒論や部活動にも力を入れた。部活動は全国大会に出場するほど毎日の練習に打ち込んだ。

エンタリーーいただいている多くの方が、仕事のONとともに、プライベートのOFFの部分の充実にも取り組まれています。ON/OFFともにわくわく感のみならず会社を一緒につくる。

今回は配信は【第11回金賞受賞者の取組みについて】です。お楽しみに！

2018年6月21日
人事企画部

わくわく★NEWS LETTER ~第4回~

**第11回わくわくギネス
金賞受賞者取組みを紹介します！**

- ・わくわくアクティビティコース(個人部門)
【目標】ヨットの世界大会優勝する。
【結果】チャーターヨットというハンデがあるなか、世界大会に出場し、7位入賞。
【達成までの工夫】チーム練習や天候を考慮したシュミレーションを繰り返すなどして日々研鑽に動んだ。
- ・わくわくアクティビティコース(チーム部門)
【目標】一周2キロのコースを2チームで合計120キロ以上、100位以内、各個人最低2周する。
【結果】合計126キロ(63周)タスキを繋ぎ、95位と上位30%以内に入賞、各個人最低2周することも達成。
【達成までの工夫】大会2ヵ月前から2週間に1度全体練習。個人では1年間練習していた人も。
- ・わくわくカルチャーコース
【目標】TOPIK(韓国語能力試験)中高級4級合格
【結果】日頃の研鑽に大いに動み、4級よりも上位である5級に合格。
【達成するための工夫】隙間時間に単語を覚えるなどの様々な創意工夫を凝らし、学習に取り組んだ。

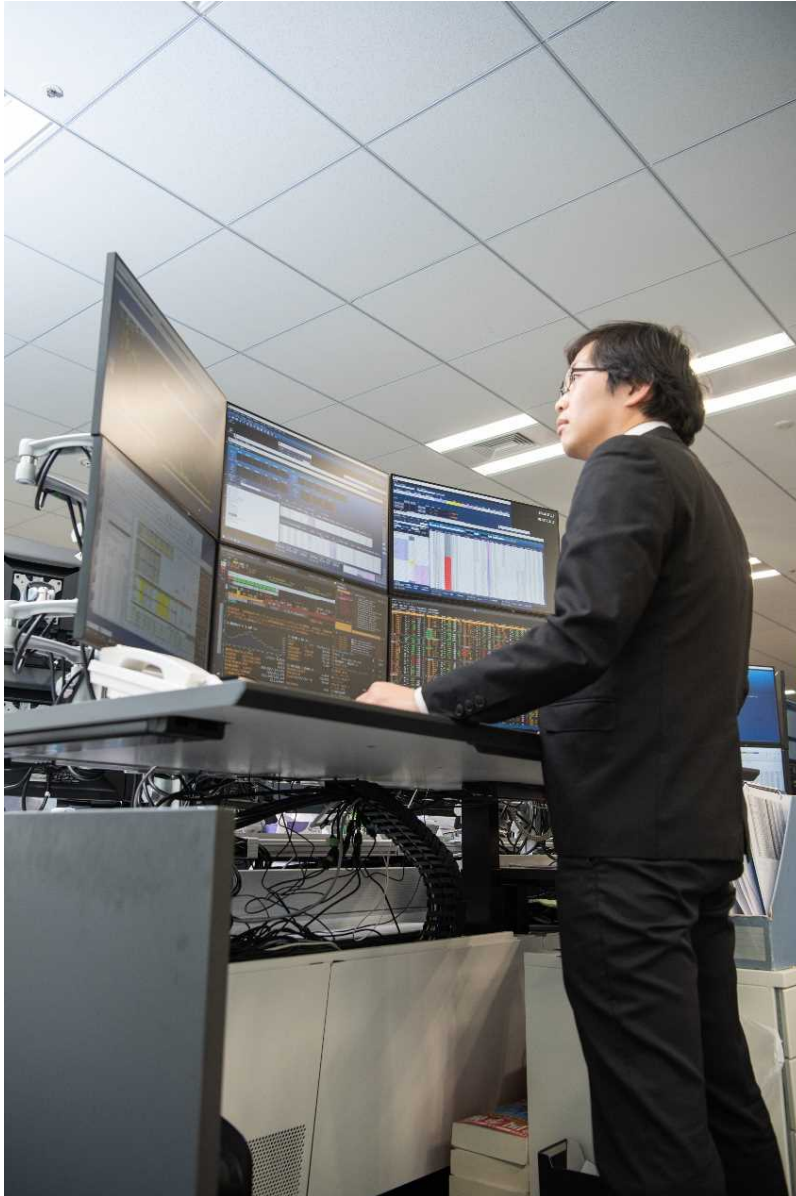
日々の業務を行いながら、趣味を極めている方が他にもたくさんいらっしゃいます。まだまだ皆様のエントリーお待ちしております。

今回は配信は【第11回金賞受賞者の取組みについて】です。お楽しみに！

社内クラブ活動とは別に、社員が仕事の枠を超えたジャンルで自らのターゲットを定めチャレンジする「わくわくギネス」を実施。

トライアスロン完走、富士山登頂、全国障害者スポーツ大会優勝、マラソン、ロードバイクヒルクライムなど、様々なチャレンジを会社全体で応援している

取組み内容④ スタンディングワーク導入および階段移動の浸透



■スタンディングワーク

座りすぎによる健康リスクの改善、生産性の向上を目指し、東京本社にスタンディングワークフロアを導入。

■階段移動の浸透

ウェルビーイング通信やイベントでも階段利用を推奨し、役社員の健康意識の向上を図った結果、東京本社4フロア間を階段で移動することが自然に浸透。

取組み内容⑤ 親子運動の機会提供



社員家族向け「職場見学会」(対象:社員の子女)を開催し、イベント内で運動の重要性の説明と、自宅で親と一緒にできるペア運動を紹介。

社員の子女を巻き込み、家庭での運動機会・意識を向上させる目的。

※ボトムアップ活動(子→親)

取組みのポイント

■ 社員が取組みたくなる運動や情報を配信する

「デスクで簡単に」「楽しく」「継続する」をモットーに、
周りを巻き込んで運動をする環境を整えること

■ 公私ともにわくわく感みなぎる制度を提供する

わくわくギネスや社内クラブ活動など、業務外で自らのターゲットを
定めチャレンジする制度を提供することで、積極的なスポーツ実施に繋がる

■ 目標は1日1000歩多くを掲げる

日常生活の中で「今より10分多く体を動かす」だけで歩数にすると
約1000歩多く歩くことになる

➤フロアやコミュニケーションゾーンに掲示することで、
日常的に階段を利用する人が増える